

講演の骨子

1. 日本におけるベンチャーの必要性

- 1) 科学技術創造立国を推進する為にも第2、第3のソニー、ホンダ、京セラが必要
なぜ日本に研究開発型の世界的ベンチャーが出てこないのか？
太陽電池における日本大企業と海外ベンチャーの競争
- 2) サービス産業の生産性向上の為にもサービス産業のビジネスモデル変革が必要
ICTの活用が新しいビジネスモデルを創出する。
サービス産業はGDPの70%を超え増加中。
- 3) 日本のカッチアップモデルと大企業病からの変革が必要
イノベーションのジレンマ、オープンイノベーションにどう対処するか？
大企業とベンチャーのWin-Winモデルの構築へ。

2. 医療産業におけるベンチャーの今後の可能性

- 1) 公共性と規制への対処
医療に該当しない業務を請け負うメディカルサービス法人（MS法人）ベンチャー
- 2) 既存事例から学ぶ
ソネット・エムスリー（MR代替ネットコンシェルジェ）、ケアネット
アニコム損害保険（ペット医療保険）
ドクターネット（遠隔画像診断支援）
アガペ（電子カルテシステム）
メディカルクリエイト（病院コンサルティング）
ティーペック（健康相談）、
在宅健康管理センター（在宅郵送在宅サービス）
- 3) 欧米の医療ベンチャー
数百の病院の運営管理ベンチャー等巨大な医療ベンチャーが多数株式上場
- 4) 地域クラスターから生まれるベンチャー
広島バイオクラスター：広島大学と連携し植物乳酸菌ヘルスケア製品開発
（株）フェニックスバイオ、広島バイオベンチャーネットワーク
岐阜・大垣ロボティクス先端医療クラスター：冠動脈バイパス手術訓練装置
（株）イービーエム
富山・石川健康創造クラスター：認知症予防プロジェクト
（株）イーグルテクノロジー
札幌バイオクラスター：北大と数十の高機能食品・有用素材ベンチャーの連携
神戸（再生医療）クラスター：多数の医療ベンチャー企業創出
大阪（創薬）クラスター：多数の医療ベンチャー企業創出
北欧：メディコンバレー（スウェーデン、デンマーク）、オウル（フィンランド）
北米：サンフランシスコベイエリア、ノースカロライナ、サンジェゴ